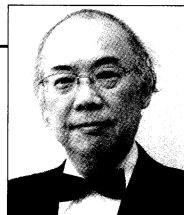


春山 秀城

(郡山市文化団体連絡協議会・会長)



ありがとう！春山ひふ科フェスティバル

平成2年に、郡山市堂前町のロードンビル(当時の名称)2階に開業した「春山ひふ科」は、平成25年3月一杯で幕を閉じました。

開業後、予定では別の診療所が入るはずの隣のスペースが空いたままだったので、大家さんに相談したところ倉庫として格安にお借りすることが出来ました。早速、床にフロアリングを張り空調付きで年間を通して利用できるようにして、郡山市を中心に県内の生徒さんのオーボエのレッスン室にしました。

そのうち巷のアマチュアブレイヤー達の間で噂となり、練習室として使わせて欲しいという希望が多くなり、小生のホームページ上でお互いに時間を調整しながら、皆さんに使ってもらうことにしました。音楽とは言え、夜間の騒音にもなりかねない練習を許してくれた堂前町内の皆さんと、快く貸してくれた大家さんに感謝したいと思います。

この方々が、閉院した年の6月29日に郡山市公会堂で「ありがとう！春山ひふ科フェスティバル」を開いてくれました。この写真はその時の1枚です。

出演者はプロ・アマを問わず県内外から、郡山市民オーケストラ、アマデウス室内管弦楽団、郡山ウインドアンサンブル、郡山マンドリンクラブ、郡山室内楽興会、郡山サクソフォンアンサンブル等々、とても紹介しきれません。大勢おりますが写真を良くご覧になれば、皆さんがご存じの音楽家を必ずや発見できると思います。因に、中央で花束を持っているのが小生、その左前に座わるのは小生の次女とその子(小生にとっては孫/ヴァイオリン)です。

お金を出して実現することはないのであろうこのフェスティバルを、参加者の会費制で開いてくれた皆様に、心から深く深く感謝申し上げます。

この後、壮大かつ華々しい打ち上げパーティが開かれたことは、言うまでもありません。

